

もっと笑顔で、暮らせる明日へ。

aito

1

Jan 2022
No.322





新春對談



JA庄内たがわ&山形大学農学部学生

学生目線で農業・農協のこれからを考える

が、農業に関わる機会が少ないので、他の研究室の人にも参加してもらつた方が良いと思います。庄内柿や稲作について



JA庄内たがわ
代表理事組合長
太田 政士

富樫 通果作業を担当で何處で行なうにしとのよがなことをしているのか分かりませんでしたが、体験を通して理解することが出来てよかったです。

佐藤 共同授業を通じて、JA事業や鶴岡市で大豆作りが盛んなこと、庄内柿の流通について知ることが出来てよかったです。庄内に住んでいても、庄内の農業に触れることがあまりなかつたので、共同授業でも業で知ることが出来てよかったです。共同授業でもと詳しく述べて詳しく学んでいきたいと考えています。

共同授業は良い経験になりました。この共同

連 算」を体験してもらいました。共同授業を体験してみて感じたことをお聞きしたい。

庄内柿が市場で売られている商品を実際に見てみると、きれいに箱詰めや袋詰めがなされています。今回の共同授業で、選果作業の現場を体験し、商品として市場に出すために必要なことを体験出来てよかったです。

辻村総務部長 今回は「学生自縦で農業・農協のこれまでを考える」をテーマとして新春対談を行つて参ります。現在、山形大学農学部とJA庄内たがわとで、共同授業を進めております。第一回目には、講義として「JAとはどんな組織なのか、JA庄内たがわの概要」について学習を深めて頂きました。第二回目には、当JAの農産加工技術研修施設で「豆腐作り」を体験してもらいました。第三回目には、当JAの庄内柿選果場にて、「庄内柿の選果作

新年以来まして、おめでとうござい
ます。

組合員・地域の皆様におかれましては、ご家族お揃いで、輝かしい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

また、日頃より、JA事業をご利用いただき、厚く御礼を申し上げます。

さて、令和3年産農産物の作柄については、春先の凍霜害により管内の広範囲で被害が発生しました。また、令和3年産米に関しては、JAグループをはじめ、関係者の努力により、過去最大規模の作付転換（6・3万ha）を達成したものの、米価は業務用銘柄を中心に大きく下落していることに加え、生産資材や燃油等の価格高騰もあり、生産現場では苦しい状況が続いていま
す。

今後の米の需給見通しについては、令和3年産米の作況指数が全国で101であつたことを踏まえ、令和4年産米の全国生産量は675万tとなることが示され、現下の米の厳しい需給状況に鑑み、米価を回復させることを最優先とし、オール山形で需給環境の改善に取り組んでいく必要があります。今後もコロナ禍の影響による需要減が懸念される中で、引き続き生産者が安心して米生産に取り組み、農業所得の向上が図られるようJAグループと連携しながら引き続き要請活動を行つて参ります。

な農業の実現」「豊かでくらしやすい地域共生社会の実現」「協同組合としての役割發揮」を掲げ、それぞれのJAにおいて地域の実態に応じて具体的な施策を策定の上、取り組むと決議されました。

当JAにおいては、「新長期基本構想」の事業指針の実現、その具現化に向けて2年目となる中期経営計画の取り組みを柱とした「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に向けた取り組みのさらなる実践と、その実践を支える盤石な経営基盤の確立を通じて、組合員・地域の皆様とともに農業と地域の未来を切り拓くべく役職員一丸となつて進めて参ります。

新年のご挨拶



代表理事組合長
太田 政士

本年も宜しく
お願ひ申し上げます

農産物のブランド化に必要だと思うこと

もまだ知識として少ないのですが、しっかり学習していきたいです。

太田組合長 連さんと宇さんの出身国の中では、日本で言う農業協同組合のような組織があるか伺いたい。

連 私の住んでいたところには、農村合作社と言う組織があります。

菅原専務 日本の農業協同組合と似た組織はあります。

連 私の住んでいたところには、農村合作社と言う組織があります。

菅原専務 日本の野菜や果物は、海外でも高い評価を受けています。それは、生産者の皆様が丹精込めて育て、出荷頂いたものを生産履歴の確認後、選果作業を経て出荷している。当JAは生産者の皆様をサポートできる体制作りを行っています。種苗の育種・生産者の栽培に対するきめ細やかな技術、厳しい出荷基準の順守により日本ブランドが成り立っています。

連 日本の農産物は、かなり品質が高いと感じています。選果作業を体験して、基準をクリアしたものだけが出荷出来、自分が、このくらいは大丈夫と思ったものでも基準から外れてしまうことには驚きました。このことから、品質管理が高い理由と感じました。

太田組合長 消費者の方々は、品質にこだわって購入される。そのため、当JAでは、基準をクリアしたものをお出しし、消費者の信頼を得ている。ブランド力を高めていくには、生産者・JA・消費者が連携していく必要があります。

連 小さい頃の味を覚えておいてほしい。

于 テレビで雪若丸のCMを見ることがあります。有名人が出ているのでイメージアップに繋がると思います。庄内柿も若い世代が好きそうなタレントを使つてPRしたら、興味を持つてもらえるのではないかと思います。また、オンラインショップの中で、もっと多くの農産物の写真や生産者の方の情報を入れたほうが消費者の信頼が上がるのではないかと思います。HPで使っている写真も、農産物に関することが少ないので、もっと農産物に関する情報をのせてもらえたらいとします。

菅原専務 当JAでも、生産現場の動画を活用しながら生産者の方をPRしていくと考えております。また、SNS等を使って情報発信していくことも大事になっておりますが、チラシ自体の紙の重さを感じてもらうことも大事だと思っています。

太田組合長 お米に関しては、関西でCMをしている訳でなく、山形県のブランド協議会でPRしています。雪若丸については、関東圏でもPRしている。つや姫は関東圏でもPRしている。サッカーチームのモンテディオ山形のユニフォームにも県産米のPRを行っております。

辻村総務部長 若い人とJAとの繋がり作りについてどのように考えておりますが、JA独自でPRをする訳でなく、山形県のブランド協議会でPRしています。雪若丸については、関西でCMをしている。つや姫は関東圏でもPRしている。サッカーチームのモンテディオ山形のユニフォームにも県産米のPRを行っております。

太田組合長 職業として農業を選んでもらえるよう大事になっておりますが、チラシ自体の紙の重さを感じてもらうことも大事だと思っています。

太田組合長 お米に関しては、JA独自でPRをしている。つや姫は関東圏でもPRしている。サッカーチームのモンテディオ山形のユニフォームにも県産米のPRを行っております。

佐藤 小学生のうちに農業体験をしたり給食で地場産の物を食べたりしますが、直接農業に触れてもらつた方が聞きたいたい。



J.A.庄内たがわ
総務部長
辻村 利光



J.A.庄内たがわ
代表理事専務
菅原 勝

あると思っている。

連 東日本大震災の原発事故の際に、輸出に苦労していました。現在は、新型コロナウイルスによって輸出が大変かとは思いますが、今の時期だからこそ出来ること、宣伝が重要な要素になってくると思います。

太田組合長 原発事故の話が出ましたが、現在は、自分の国へPRしてもらえば、どんどん広がります。庄内柿はPR動画がありますが、他の生産物も同じようにPR出来たら良いなと思います。例えば、日本で生活している外国人からも力を借りて、庄内柿はPRしてもらえば、どんどん広がります。

連 もう少し出来ること、宣伝が重要な要素になってくると思います。

太田組合長 原発事故の話が出ましたが、現在は、日本の基準の中でしっかりと安全が確保されているところで生産されている。

連 日本の基準の中でしっかりと安全が確保されているところで生産されている。

太田組合長 若者は、SNSを使うことが非常に多いので、SNSを利用し、宣伝していくのは良いことだと思います。JAでもSNSを利用しているので宣伝効果はあると思います。第一に、知つてもらう必要があると思います。

佐藤 若者は、SNSを使うことが非常に多いので、SNSを利用し、宣伝していくのは良いことだと思います。JAでもSNSを利用しているので宣伝効果はあると思います。第一に、知つてもらう必要があると思います。

太田組合長 庄内柿のブランド化について、話が出ておりましたが、農産物ブランドを高めていくためには、若い皆様から見て、どんなことが必要だと私は思っています。

菅原専務 若者は、SNSを使うことが非常に多いので、SNSを利用し、宣伝していくのは良いことだと思います。JAでもSNSを利用しているので宣伝効果はあると思います。第一に、知つてもらう必要があると思います。

連 買つてもらうためには、味を知つてもらう必要があると思います。選果作業で、基準に達しなかったものはどう活用しているのか教えてほしいです。

菅原専務 正品としての基準をクリアできなかつたものは、お買い得品として販売されたり、業務用や加工品として利用され、庄内柿と言えば、柿ジュースや柿酢として市場に出されたりしている。

富樫 柿酢があることを初めて知つて驚きました。

太田組合長 良いと思います。小・中学生のうちに農業に良いイメージを持つてもらう力がJAはあると思います。JAと学校と連携して授業をしてみてはどうでしょうか。

富樫 私は、高校生の時から山形県の農業に貢献したいと考えてきました。小・中学生のうちに楽しいイベントで終わってしまっていると思います。高校生になると、具体的に進路について考える時期に入っています。実際に農業体験をした方がいいと思います。高校だと農業体験をするのは、農業科だけで、他の科は農業体験という頭が無いと思います。そのため、きっかけ作りが必要だと思います。

連 良いと思います。小・中学生のうちに農業に良いイメージを持つてもらう力がJAはあると思います。JAと学校と連携して授業をしてみてはどうでしょうか。

菅原専務 正品としての基準をクリアできなかつたものは、お買い得品として販売されたり、業務用や加工品として利用され、庄内柿と言えば、柿ジュースや柿酢として市場に出されたりしている。

富樫 買つてもらうためには、味を知つてもらう必要があると思います。選果作業で、基準に達しなかったものはどう活用しているのか教えてほしいです。

太田組合長 庄内柿のブランド化について、話が出ておりましたが、農産物ブランドを高めていくためには、若い皆様から見て、どんなことが必要だと私は思っています。

菅原専務 若者は、SNSを使うことが非常に多いので、SNSを利用し、宣伝していくのは良いことだと思います。JAでもSNSを利用しているので宣伝効果はあると思います。第一に、知つてもらう必要があると思います。

連 買つてもらうためには、味を知つてもらう必要があると思います。選果作業で、基準に達しなかったものはどう活用しているのか教えてほしいです。

菅原専務 正品としての基準をクリアできなかつたものは、お買い得品として販売されたり、業務用や加工品として利用され、庄内柿と言えば、柿ジュースや柿酢として市場に出されたりしている。

富樫 柿酢があることを初めて知つて驚きました。

太田組合長 良いと思います。小・中学生のうちに農業に良いイメージを持つてもらう力がJAはあると思います。JAと学校と連携して授業をしてみてはどうでしょうか。

連 良いと思います。小・中学生のうちに農業に良いイメージを持つてもらう力がJAはあると思います。JAと学校と連携して授業をしてみてはどうでしょうか。

菅原専務 正品としての基準をクリアできなかつたものは、お買い得品として販売されたり、業務用や加工品として利用され、庄内柿と言えば、柿ジュースや柿酢として市場に出されたりしている。

若い人とJAとの繋がり作りについて



于 清さん
修士1年
中国山東省煙台市出身

宇さん
修士2年(前期)
中国海南省出身

佐藤 壮志さん
農学部3年
山形県上山市出身

富樫 潤さん
農学部3年
山形県村山市出身

もつと加工品に力を入れた方が良いと思います。加工品では、JA独自で商品開発などを行つてあります。JAグループのキャラクター「JAグローブ」はとてもかわいいので、それを使いながら、庄内地域の小・中学生に農業や農協に対しての知識を広めていけば良いと思います。

菅原専務 当JAで直接商品開発と言つことは少ないが、当JAの子会社や関連会社で商品開発を行つております。生産物の格付けを行う理由の一つとしては、贈答用や一般的な食卓用など用途の違いがあると思います。

連 JAグループのキャラクター「JAグローブ」はとてもかわいいので、それを使いながら、庄内地域の小・中学生に農業や農協に対しての知識を広めていけば良いと思います。

菅原専務 当JAの産直んめ農マルシェや営農販売部販売課、オンラインショップにて加工品の販売を行つております。

連 JAグループのキャラクター「JAグローブ」はとてもかわいいので、それを使いながら、庄内地域の小・中学生に農業や農協に対しての知識を広めていけば良いと思います。JAの子会社や関連会社で商品開発を行つております。JAグループのキャラクター「JAグローブ」はとてもかわいいので、それを使いながら、庄内地域の小・中学生に農業や農協に対しての知識を広めていけば良いと思います。

太田組合長 管内の小・中学校に庄内産の食材を提供し、給食で使つてもらつて。また、子ども食堂にJAグループとして食材を提供している。子供の頃の味覚は、大人になつてもずっと残つていく

連 JAグループのキャラクター「JAグローブ」はとてもかわいいので、それを使いながら、庄内地域の小・中学生に農業や農協に対しての知識を広めていけば良いと思います。

菅原専務 当JAの子会社や関連会社で商品開発を行つております。JAグループのキャラクター「JAグローブ」はとてもかわいいので、それを使いながら、庄内地域の小・中学生に農業や農協に対しての知識を広めていけば良いと思います。

エンジョイライフ

自分と向き合える時間を大切に

いたがき
藤島支所管内
板垣 隆一さん(68)

私が習字と出会ったきっかけは今から約60年前、旧長沼小学校の空き教室で行われていた習字教室に通ったことでした。小学校卒業後は一度習字から離れたのですが、勤め先で賞状を書く機会があり、経験を仕事に活かせると思い再び筆を執りました。また、25年前には日本習字鶴翠支部の支部長となり、現在は長沼地区地域活動センターで週2回、庄内町で週1回子どもから大人までを対象に習字の指導をしています。

受講生一人ひとり筆の扱い方など丁寧で繊細な指導を心掛けており、受講後、満足そうに帰って行く姿を見ると嬉しさを感じます。作品は、長沼の書道練成会の方々と協力しながら夏の練習会や書き初め会などで長沼温泉ぼっぽの湯に展示を行う他、全国コンクールで賞を獲得することを目標に練習・指導に取り組んでいます。今後は、筆で書く文字の美しさや楽しさを地域の若い世代に繋げていきたいと思っています。私自身も、筆を執り自分に正直になれる時間を大切にしていきたいです。

3人仲良く元気に育ってね！

さとう
温海支所管内 佐藤 ゆなちゃん(5)・なのちゃん(3)・那由多くん(0)あいと
キッズ

ゆなちゃんは、お化粧がマイブームのおしゃれ好きなお姉ちゃん。マニキュアや口紅を使って練習中です。

絵本が好きななのちゃんは自分でストーリーを考えることが得意です。想像力豊かでこだわりが強い一面もあります。

元気いっぱいの那由多くんはおもちゃ遊びが大好き！ブロックやはたらく車に夢中です。



ファミリーファーム

海外で身に付けたスキルを
活かし養豚の魅力を発信していく新余目支所管内 有限会社 三郷原牧場
うえの ようへい せいか
上野 陽平さん(35)・聖喜さん(28)

(陽平さん) 幼い頃から養豚が身近にありました。就職活動の時期に家業を継ぐことを決意し、7年前に就農しました。就農前は農業の知識を身に付けるため、埼玉県の養豚場で1年間、アメリカの養豚場で1年半養豚について学びを深めました。現在は、母豚500頭の一貫経営を行っております。養豚経営をしていく中で悩むことは多いですが、循環型農業の実践を通して、地域社会の発展に貢献できるよう頑張っております。豚たちと共に地域を活性化させていくことを目標に養豚の魅力を発信していきます。

(聖喜さん) 私は、農業を学ぶため大学に進学し、畜産業と向き合い、5年前に就農しました。大学卒業後は宮崎県とイスイで1年間ずつ地域に根差した循環型農業を学びました。生き物相手だと思い通りにいかないこの繰り返しだが、地域の方々が食べている豚肉を自分たちで生産しているという誇りを胸に日々試行錯誤しています。2022年にはホームページを開設する予定です。情報を開示し、皆さんに納得して選んでもらえる豚肉を生産することを目標に人も豚も幸せな経営をしていきます。

庄農生トライ

SHONOSEITRY

日本の食を支える農家を目標に

食料生産科3年 五十嵐 潤さん 鶴岡二中



私が庄内農業高校に入学したきっかけは、実習を通して体を動かしながら農業を学べることに魅力を感じたからです。高校3年間で稲作、野菜、果樹を勉強してきました。全て同じ農作物という一括りですが、共通点ばかりではなくその作物にあった栽培方法や収穫方法、販売方法などがあり勉強すればするほど奥の深いものだと気付きました。また、自然の前では人の無力さを感じながらも、そんな中でたくましく育つ農作物には目をみはりました。

スーパーで陳列される農作物はどれも同じように見えますが決してそうではなく、同じように栽培しても生産場所や品種により味や見た目が違うものや毎日の天候などに左右されつつもやっと収穫できたものが並べられています。その背景にはたくさんの農家がいて日本の食を支えているのだなと感じました。

私は卒業後、更なる勉強に励み農業について真摯に向かいながらおいしいと言われる農作物をたくさんの人々に届け、日本の食を支える一翼を担えるよう頑張りたいと思います。



梨・剪定講習会を契機に次年度生産に意識統一

櫛引支所なし部会は12月6日、櫛引支所で作況反省会と剪定講習会を開いた。園芸特産指導員が今年産の作況や販売実績などを報告し、参加した部会員ら約20人は、来年産に向け冬季管理のポイントを確認した。春先の霜害・雹害を受けた圃場は着果数が減少傾向にあったものの、3月からの日照時間が多かったため、被害の少ない圃場では平年並み以上の収量となった。また、夏季の一時的な長雨により一部の圃場で黒星病が発生したが、部会員の徹底防除により生育が回復した。同部会は今後、古い枝を剪定し新しい枝で生産力を高める他、側枝間隔は35cmを基準にして日照量の確保に努めていく。



女性の声をJA活動に活かす

女性部は12月1日、本所でJA役員との意見交換会を開き、出席した全8支部の部員ら約20人が、JA事業や地域農業の発展に向け意見を交わした。今年度は「日頃の意見・要望をJA役員へ伝える」をテーマに女性部の共同購入運動で取り扱う商品内容に対する要望、缶詰加工事業での悩みや広報宣伝方法などが話し合われた。また、定期貯金のキャンペーンや共済事業からの提案などお得な情報を共有した。今後は、持続可能な開発目標(SDGs)の一環として、食品ロス削減のため家庭で賞味期限内に食べきれない食べ物を地域の福祉施設などに寄付する活動「フードドライブ」に取り組んでいく。



椎茸・十分な菌床の休養で収量安定目指す

椎茸部会は12月6日、庄内町で菌床椎茸の栽培方法や栽培管理のポイントを学ぶ全体研修会を開いた。参加した部会員ら約20人は、同部会員のハウス視察を行い、種菌メーカーの担当者や園芸特産指導員と秋收穫後の菌床管理について研修。ハウス内の温度や湿度調節の他、十分な菌床の休養を取るなど発生管理の徹底が収量安定・高単価へつながることを学んだ。同行した種菌メーカー担当者は「一定期間で吸収する養分量や発生するキノコの量は決まっているため、秋から発生を重ねた菌床は20~23°Cの定温で休養を確保し、湿度80%を保つよう適宜灌水に努めること」とアドバイスした。



温室メロン・2玉入り出荷量が前年比215%を記録

温室メロン部会は12月13日、本所で今年産の販売総括会議と品評会表彰式を開いた。今年産は全国的に大玉傾向であったため、2玉入りの出荷量が前年比215%を記録。全体販売金額が前年比102%となり来年産へ弾みをつけた。園芸特産指導員は、適切な栽培管理や防除により生育停滞や障害などの大きな被害はなく生育は順調であったと統括。主に贈答用の引き合いが強かった。来年産は、主流である相対出荷に向け事前に出荷数量を把握する他、生産者や市場との情報共有を密にし有利販売につなげていく。表彰式では、8月に行われた品評会で優秀成績を収めた生産者に賞状が授与された。



地域とJAを結ぶネットワーク 各地の話題を追って



JA NEWS

再載記事の詳細はホームページに掲載しております



葉牡丹・収穫スタート!正月の色どりに

花き生産が盛んな庄内町では、正月飾りで人気の高い色鮮やかな葉牡丹の収穫が12月10日からスタートしている。今年産の生育は、9月~11月の高温の影響により、草丈が上手く伸びない作型もあったものの、生産者らの遮光などによるハウス内の温度管理で生育は順調。同町古関で約10年前から葉牡丹を作付けしている大瀧せつこさんは、収穫を前に草丈の状態などを入念に確認していた。せつこさんは「草丈が真っ直ぐ伸びており、葉の色づきも良好」と品質に自信を見せており、JAでは今後、30ケース(1ケース50本)を東京都にある大田市場に12月下旬まで出荷していく。



柿えくぼ・甘くてしつとり、上品なおいしさをお届け

管内では渋抜き前の庄内柿「平核無」を使用した干し柿「柿えくぼ」の乾燥や袋詰めなどの調製作業が最盛期を迎えており、丁寧に皮をむき、食品用乾燥機に入れ34°Cで5日間ほど乾燥させると甘さが凝縮され柔らかくしつとりとした食感に仕上がる。羽黒町玉川で調製作業に勤しんでいる斎藤和彦さんと妻のせつさんは「今年産は水分が多く1つひとつに時間がかかるが、丁寧に仕上げ、消費者に高品質でおいしい干し柿をお届けしたい」と話す。作業は1月末まで続く予定で、JAは販売高3000万円を目指して販売。ふるさと納税の返礼品としても取り扱われる。



軟白ネギ・高品質出荷に向け意識統一

長ねぎ部会は12月14日、藤島支所で軟白ネギの目ぞろえ会を開いた。参加した部会員約40人は、出荷規格や出荷前の調製作業を入念に確認し、市場への安定出荷と高品質生産への意識を統一した。今年産は、病害虫被害もなく生育は順調で、生産者らは高品質生産を目指している。園芸特産指導員は、調製作業としてネギの全長は72cmに切りそろえる他、根を切る際は、基盤部分を5mm程度残すよう呼び掛けた。また、茎が曲がらないように収穫したネギは日陰で調製することとした。今後、軟白ネギの出荷量60t・販売高2400万円を目標に、主に関東市場へ向け3月末まで出荷していく予定だ。



月山ワイン・アジア最大ワインコンで評価

アジア最大規模のワイン審査会である「第24回ジャパン・ワイン・チャレンジ2021」で、JA月山ワイン山ぶどう研究所の「ソレイユ・ルバン ヤマソービニオン2019」がシルバー賞、「ソレイユ・ルバン 甲州シュール・リー2020」がブロンズ賞を受賞した。月山ワインならではの品質の高さと味わい深さを国内外に示した。コンクールは、10月26~29日に東京都内で開かれ、世界28カ国から1,100点以上のワインが出品。ワイン業界の著名人々が集まり厳正な審査が行われた。成澤健所長は「赤と白どちらも賞を頂き光栄である。今後も愛される月山ワインを造っていきたい」と話した。



年末年始の営業時間

	12月31日(金)	1月1日(土)	1月2日(日)	1月3日(月)	1月4日(火)
一般業務		休業			
配送センター		休業			
JAGリーンふじしま店		休業		定休日	
資材各店舗		休業			
交通事故受付	自動車の事故受付は、JA共済事故受付センターでお受けいたします。 0120-258-931				
信用窓口	休業		通常営業		
産直んめ農マルシェ	9:00~15:00(歳末セール)	休業	通常営業(新春初売りセール)		
JAF福祉介護支援センター	居宅介護支援事業 (ケアマネジャー)	休業			
訪問介護事業 (ホームヘルパー)		予約対応			
福祉用具貸与・販売事業 (福祉用具レンタル)		休業			
通所介護事業 (デイサービス えがおテあい)	休業		通常営業		
ATM	本所・長沼(藤島) 立谷沢(立川)・南部(櫛引)	休業	9:00~19:00		
	温海支所・新余目支所 立川支所・藤島支所 羽黒支所・櫛引支所 朝日支所・東郷(三川) 泉(羽黒)・広瀬(羽黒)	9:00~17:00		9:00~21:00	
	三川支所	休業	9:00~17:00	休業	9:00~19:00
	念珠閣(温海) 福栄(温海)・山戸(温海)		9:00~19:00		9:00~21:00
	藤島Aコープ				
株あいとサービス	農機センター	休業			
	各オートバル	休業			
	※休業期間中の事故などの緊急対応については、最寄りの業務時間中のJA-SSIにご連絡いただくと、車両担当者におつなぎ致します。なお、1/1及び業務時間外はご加入の共済・保険会社等にご連絡いただきご対応願います。				
	プロパンセンター	休業			
	コインランドリー	6:00~22:00	休業	6:00~22:00	
JASS	福栄SS(温海)	7:00~11:00 14:00~17:00	休業	7:00~11:00 14:00~19:00	定休日
	新余目SS・羽黒SS 櫛引SS・朝日SS 三川SS・藤島SS	7:00~17:00		7:00~20:00	
	立谷沢SS(立川)	休業		7:00~10:00	

JA庄内たがわ 2022年カレンダーの 発行について

2022年版カレンダーにつきましては、JAグループ主催の「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールに応募頂きました管内の全図画作品を掲載させて頂きました。応募頂きました皆様には感謝申し上げるとともに、JAカレンダーをご覧になられる皆様には、管内の小中学生の作品をお楽しみいただければ幸いです。

初日さす
疫病に負けぬ 食の里
阿部月山子

◎新年詠

優秀賞
(8月号に掲載)
馬鈴薯の花を摘みたる 母米寿
鶴岡市東名木 高梨秀子

優秀賞
(5月号に掲載)
「評」馬鈴薯の花を咲かせておくと花に養分がどちらでも現役で元気である。
終点の 海と押し合ふ 雪解川
鶴岡市越中山 佐藤照子

最優秀賞
(10月号に掲載)
「評」増水して濁った雪解川の水が終点の海に入る
ところの方まで濁るまるで海と雪解川が押し合
っているようである。
分け入れば 何處も彼處も 花若芽
鶴岡市越中山 管原しづ子

俳句教室
2021年 年間賞発表

△庄内たがわ 産直んめ農マルシェ 1月・2月イベントのお知らせ

1/22(土)・23(日)柑橘フェア

JAより、不知火、はるみ、はるかなど販売!
みかんの箱売りの他、みかんの詰め放題も開催予定!

2/5(土)・6(日)お米の日

ポイント5倍 対象商品10%割引! ※一部商品を除く。

1/29(土)・30(日)落花生販売

国内産落花生販売!
JAカードでお買い上げの方は 請求時に5%割引!

2/12(土)・13(日)えび汁まつり

由良漁港協賛!えび汁販売!
冷凍紅えび販売!

※写真・イラストはイメージです。予告なくイベント内容が変更となる場合がございます。ご了承ください。

1月から2月までの営業時間9:00~17:00 (定休日: 1/12, 1/26, 2/9, 2/24) ※1月1日(土)~3日(月)は店舗休業となります。
〒997-0824 鶴岡市日枝字小真木原88-1 TEL0235-25-6778 FAX0235-26-7880 E-mail sanchoku@ja-shonai.or.jp

農産物を出荷していただける産直協力会員を随時募集しています! オンラインショップ 産直んめ農マルシェ 検索

介護の心配、ご相談ください!

おまかせ下さい!

ご自宅で自立した生活を送れるように、訪問介護員(ホームヘルパー)がご自宅を訪問して、入浴、排せつ、食事等の介助や調理、洗濯、掃除等の家事を行います。

訪問介護事業

ご自宅で生活しながら、日帰りで通う施設です。施設では、食事や入浴などの日常生活の支援や生活機能向上のための訓練などを行っております。

通所介護事業

介護を受ける方の日常生活における自立を助け、介護者の負担を軽減するため、車いすや介護ベッド、歩行器、スローブなどを貸与(レンタル)しています。また、介護保険を利用して、浴用手すりやシャワーチェア、ポータブルトイなどの購入をお手伝い致します。

当事業所での相談、ご自宅を訪問しての相談、どちらも可能です。
介護のことが気になったら、お気軽に電話ください。

総務部 福祉介護課 TEL:0235-33-8165 FAX:0235-33-8166
E-mail:fukushi@ja-shonai.or.jp

JA庄内たがわ
特別セミナー

入場無料
要ご予約

暮らしに役立つ 「ライフプランセミナー」

未来のあなたのために
～人生100年時代を生きる～

講師: FPアソシエイツ&コンサルティング株式会社
ファイナンシャルプランナー(CFP)

阿部重利氏

日時: 令和4年2月5日(土)
13:30~(受付 13:00)



場所: 三川町 いろり火の里
「なの花ホール」1F多目的ホール

詳しくは、お知らせ版1月号をご確認ください。

JA共済ホームページで「資料請求」と「掛金シミュレーション」

JA共済ホームページで生命共済や建物更生共済、自動車共済の資料請求と簡易掛金シミュレーションが出来ます。現在実施中の「こども共済」「医療共済」資料請求や「自動車共済」お見積りモリキャンペーンに応募すると、豪華賞品が当たるチャンス!ぜひお試しください! 様々なご用件・ご相談は、各支所共済課窓口まで。

JAのこども共済「学資応援隊」が
ママリコミ大賞2021春
5期連続 大賞受賞!!



鈴木 杏奈さん(23)

朝日支所管内

今年度から地元に戻り、保育士をしています。毎日子ども達の笑顔に癒されています。スポーツが好きなので冬の間はスノーボードに挑戦したいです。

撮影場所＝庄内神社
衣装協力＝東京丸栄

庄内神社
aito 2022

Jan. No.322

発行／庄内たがね農業協同組合 〒999-7611
山形県鶴岡市上郷島字郷中 F3-1
TEL 025-664-3000
電子メール togawaken-a-shonan.or.jp
相談／庄内農村工業農業協同組合公



Instagram
Twitter
Facebook
YouTube
ホームページ